



会 社 名 HYUGA PRIMARY CARE株式会社
代表者名 代表取締役社長 黒木 哲史
(コード：7133 グロース市場)
問合せ先 取締役最高財務責任者 大西 智明
(TEL. 092-558-2120)

2025年5月14日に公表いたしました2026年3月期第2四半期（中間期）連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）連結業績予想と実績値の差異(2025年4月1日～2025年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益 (円 銭)
前回発表予想 (A)	5,720	512	490	347	48.78
実績値 (B)	5,532	225	206	136	19.10
増減額 (B－A)	△188	△286	△284	△211	－
増減率 (%)	△3.3	△55.9	△58.0	△60.8	－
(ご参考) 前年同期実績 (2025年3月期第2四半 期(中間期))	4,719	448	435	291	41.03

今回の差異は、在宅訪問薬局事業において年間7店舗の出店予定から10店舗に増加し、第2四半期までに8店舗出店が集中したことにより、出店コスト、人材採用コストが前倒しで発生したことが要因となっております。

また、プライマリケアホーム事業において、2024年12月に「プライマリケアホームひゅうが熊本はません」、2025年4月に「プライマリケアホームひゅうが久留米聖マリア病院前駅」を開設しましたが、同時期に開設が重なったことによる営業人員の不足が影響し、想定された入居率を確保できませんでした。さらに、「プライマリケアホームひゅうが熊本はません」では医療スタッフ不足により医療サービスが十分におこなうことができず、患者1人当たりの単価が他施設と比較し10万円程度低くなっていることも大きな差異発生要因となっております。

さらに、2025年9月にきらりプライム事業において「リージョンプライム」の契約を締結し約2億円の売上および営業利益を計上する見込みでした。契約は2025年9月に締結しており役務の提供も完了しておりますが、収益認識に
関して監査法人と相違があり、2026年3月期第2四半期に計上しないことになりました。

これらは、2026年3月期下期に計上を見込んでおり、通期では前回公表予想を据え置いておりますが、業績予想の修正が必要と判断された場合は速やかに開示いたします。

以上